

平成 27 年度第 11 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 28 年 2 月 23 日 (火) 18 : 30 ～ 20 : 00

【場 所】 望来コミセン みなくる ホール

【出席者】 10 名 (15 人中)

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	佐 藤 勝 彦	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	中 井 健 太	
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	今 光 江		委員	平 賀 敏 和	○
委員	大 内 さつき	○	委員	坂 本 悌 生	○	委員	前 田 和 也	○
委員	大 黒 利 勝		委員	柴 田 志寿子	○	委員	築 田 敏 彦	○
委員	小笠原 英 史	○	委員	柴 田 肇		委員	吉 田 美 香	

※正副会長を除き、あいうえお順

本 庁 ～ 企画経済部渉外調整担当 稲垣主査

支 所 ～ 西田支所長・熊谷課長

事務局 ～ 高田課長・相原主幹・渡部主査・永澤主任・寺内主任
(地域振興課)

地域おこし協力隊 ～ 小島隊員

【傍聴者】 0名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 情報交流 (リラックス タイム)
 4. 報告事項
 - (1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について (回答)
 5. 協議事項
 6. その他
 - ・石狩市多機能拠点形成ビジョン (案)、道の駅の動向について
 - ・地域おこし協力隊活動報告会の開催について
 - ・マイナンバーの提出について
 - ・次回協議会の日程等について
 - ・その他
 7. 閉会

1. 開会

【厚）地域振興課 高田課長】

皆さんどうもお疲れ様です。第 11 回の地域協議会を始める前に、本日、今委員、吉田委員、大黒委員、柴田肇委員、中井委員の 5 名より所用により出席出来ないという連絡を受けておりますので、ご報告をさせていただきます。それでは平成 27 年度第 11 回厚田区地域協議会を開会致します。

会長ご挨拶の方、よろしくお願い致します。

2. 会長あいさつ

【佐藤会長】

お晩でございます。今日の会場はこじんまりとしていて良いですね。膝を突き合わせてという事で、年を取ってくると声が通らなくなるので、これはカラオケをしていないせいかなとも思うんですけども、そういう事で今日は、支所の配慮でマイクを用意してもらいましたので、なるべくマイクでハッキリと意味が伝わるようにしたいと思います。

何の話をしようかなと 1 日考えてきた訳ですけども、昨日、学校統合の報告会が聚富会館でありまして、その報告会が多分、最後だったと思うんです。それでこの厚田地区、それから八幡、旧石狩の方にお集まりいただいて、教育委員会の報告を受けました。やっぱり最終的に問題になったのが、聚富小中学校の親御さん達なのですが、教育委員会としては大体、厚田のどこの位置に新しい学校を一所という事と、それから八幡と旧石狩のところの学校を統合という事で、エリアを大きく二つに分けました。そうするとちょうどそのエリアの狭間に掛かっている聚富小中学校の親御さん達は揺れる訳ですね。厚田までは結構遠いんですよね。そうすると私も親ですから、親御さんの気持ちは良く解るんですけども、まず一番は、子供を通わせる道のりに不安を持っているんですね。距離が長いという事は、それだけ色んな面でデメリットが起きるという事で、現スクールバスの場合には、役所の方もいるから言いにくいんですけども、結構、使いにくいんですね。例えば、土日、祝日、それからそうやって部活をしている子供さん達の送り迎えですとか、親が共稼ぎで緊急に子供が熱を出した場合に親が迎えにいけないとか、色んな家庭の事情も含めてやっぱり近くだったら便利だなと思うのが親心。これが近くに通わせたいとなるんですよ。そうしますと厚田区でせつかく、小中学校を建てて子供達をそこに集めて、子供の数が少ないと社会性が育たないものですから、なるべく多くの子供達でドッチボールが出来たり、同じ学年、あるいは、ほぼ同じ年齢層でドッチボールをしたり、社会性を養うためにそういうグループ活動が出来るそういう人数が欲しいなと誰もが思う訳ですよ。ところが、聚富小中学校の親御さん達は、やっぱり近くの八幡に通わせたいとなると、今の聚富小中学校の子供さんって皆向こうですよ。そうすると今度は、望来の子供達だけが向こうに行くという事になると、あれっ？望来だって・・・ひょっとすると住まいによると八幡に行った方が近いんじゃないかという事になりますよね。そうなりますと何のための統合かという問題が起きてきますよね。今言った教育の問題、将来の子供達に社会性を作るためになるべく多くの子供達で学校という事を考えると、なかなか大きな課題とそれから問題が潜んでいると思うんですよ。これは都会だったら何ていう事はないんですけども、地方だとか田舎だとか少子化が激しいところというのは必ずこういう問題が起きてくるんですよ。そこで、大きく二つの問題が出てくるのですが、一つは、今言ったように子供達の将来を考えた教育的側面、あるいはこれは教育の視点と言っても良いんですけどね。これでは、多くの親御さん達も地域の人達も大体、同じ考え方なんです。やっぱり子供達のために、やっぱりそういう教育が出来るという教育環境を考えていかなければならない。

もう一つの視点は地域の視点なんです。地域から学校が無くなったり、地域のすぐ近くに学校があった方が親にとっても便利だとか、色んな面が起きて地域に住まいする人達の視点がやっぱり教育の視点とは相反する事が出てくるのは、少子化、それから学校を統廃合しなければならないという選択肢を取らなければならない教育委員会の決定の難しさと言いますか、苦渋の選択と言いますか、そういう事があるという事で、この点を教育の視点と地域の視点との折り合いをどこで付けるかという、これが過疎化して少子化して大変な問題をたくさん抱えている地方の問題なんです。その象徴として、そういう学校統廃合の問題が出てきたという事で、これは福祉の問題でも何の問題でも出てくる訳です。そこで是非、私達はこういう難しいあい反する問題のちょうどその折り合いをどう付けていくかというのは、もうこれはそこに住む人達のアイデアとものの考え方と言いますか、そういう事だと私は思っています。ですから、折り合いをどう付けるかというのは、難しい問題を解決するためには、一人一人が何を考えれば良いかという事なんです。そこで一つだけ例なんです。私達は本当に一人一人違うライフスタイルを持っているんですよ。自分の生活と言った方が良いでしょう。その生活で本当に自分は幸せだとか、意義があるとか価値があるとか考えるのは誰が考えるかというか、結局は個人なんです。与えられた条件に自分がどんな意味付けをするかによって、ガラッと結果が変わってくるんですよ。これ話をしていると結構長くなって、えっ！なんだ挨拶が長くなって、これで会議が終わりというのではどうしようもないので、この与えられた条件に自分がどう意味付けをするかによって、大きく変わ

るというのは、またチャンスがあったら皆さんとお話し合いをしたいと思います。これは非常に重要なんですね。この意思決定をする場合です。それぞれの人が自分のライフスタイルを持っていて、それぞれ皆違うんです。先ほど言ったように教育の視点、子を持つ親の教育の視点と地域の視点と違うんです。これに折り合いを付けるというのは、一人一人のライフスタイルにどう意味合いを付けるか、意味付けをするかという事にかかってくるんですね。ちょっと最後は難しいと言いますか、ややこしい問題なんですけれども、でも結果的には、地域の事を考える人達がその折り合いをどう意味付けるかという事に掛かっているという結論なんです。ですから、ここに集まってくれている人達は地域の事や色んな事で問題を解決する為に意見を言ってくれる、あるいは考えてくれる人達ですから、これからもこの過疎化してきている便利な田舎といわれているこの厚田区をもっともっと活性化していくためには、多くの人達の力が必要なんですけれども、皆さん達のようにお集まりいただいて、考え方や意見を言ってくれるのは、これは大変重要な事だと思いつく思いながら、今日来ましたので、そういう挨拶となってしまうました。そういう事で是非、皆さん達の良い、あるいは建設的なこの地域のために思う意見をどんどん出していただきたいなというお願いに代えて挨拶に代えたいと思います。

3. 情報交流 (リラックス タイム)

4. 報告事項

(1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について (回答)

【佐藤会長】

石狩市過疎地域自立促進市町村計画についてであります。前回も含め何回か引き続き検討をして参りました、今日が最終報告という事になりますので、相原主幹の方からお願い致します。

【厚）地域振興課 相原主幹】

皆さんこんばんは、相原でございます。皆様のお手元の方にA4横で2枚、それからA4縦で1枚の過疎計の資料をお渡ししております。今、会長からのお話にありまして、前回まで本庁の方からこの過疎計画の変更について、色々と説明をしてこれまで練って来ました。前回の時に、計画の概ねはご賛同いただいたのですが、中で身障者の記載のところで追加した方がよろしいのではないかとご意見がございまして、その点について庁内でも調整をしまして、皆様のお手元にありますA4横資料のページ数で言いますと4ページから5ページ、6ページに赤字で記しているところが障がい等について追加記入する事にしました。追加記入をする事で、この計画を完成という事で出来上がりにしたいと思ひまして、この事を今日、皆様方に改めてご報告致します。併せまして、前回、市からこの計画についての諮問がされているという事で、地域協議会としてこの計画についての返答をするという事で、返答は会長を含めて事務局とで文言はこちらの方で考えさせて下さいという事をお話しをしていたのですが、今まで色々話しをして決まりましたので、せっかくですので皆様方へご提示しておりまして、これがA4縦の答申書となります。一応、これを答申書に付け加えてこの計画としては協議会として了承をするという事で進めたいと思っております。

以上、ご報告を致します。

【佐藤会長】

ありがとうございます。前回、前田委員の方からご意見がありました件について、市の方で調整をしてお渡ししましたように4ページ、5ページの赤字のところを追加するという事になりました。この文章を追加する事によって、高齢者だけではなくて、障がいのある方々への地域としてのこれから色々サポートですとか、具体的な文言を入れていただきました。よって、坂本委員おっしゃったように、補足というか追加というか、そういうものを付けなくても文章化して中へ盛り込みましたので、これでご了解いただければという風に思ひますという事で、地域協議会として答申の返答をするという事になりました。

【委員により了承】

5. 協議事項

6. その他

- ・石狩市多機能拠点形成ビジョン(案) ※前回説明の内容に対する質問を受ける形
- ・道の駅の動向について(厚田支所地域振興課 高田課長より説明)
- ・地域おこし協力隊活動報告会の開催について(地域おこし協力隊 小島隊員より説明)
- ・マイナンバーの提出について(厚田支所地域振興課 相原主幹より説明)

7. 次回会議等の日程について

平成 28 年 3 月 29 日（火） 18：30 ～ 厚田保健センター 多目的ホール

8. 閉会

平成 28 年 3 月 29 日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会
会 長 佐藤 勝彦